

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスなないろ				公表日	令和 8 年 5 月 20 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		法定の広さは確保している。	法定の活動スペースは確保しているが、物があると限られてしまうため、整理整頓に努める。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		適切に配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		イラストや文字で何の部屋化をわかりやすくしている。キッチンなど勝手に入ると危ないところには施錠できるようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		落ち着いた活動をするスペースと体を動かして活動するスペースを分けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静養室があるので、クールダウンのために使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員同士でミーティング行い、都度行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者よりいただいたご意見を基に今後の業務改善に生かしていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティングの際などに意見をもらい把握し、改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者による外部評価を行っていない。	第三者を入れて評価を行ってもらい、業務改善につながるような仕組みを作ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		参加可能な研修は積極的に受講してもらっている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		適切に行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		適切に行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		適切に行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		適切に行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5		標準化されたツールといったものがよく分からないが、必要であれば行う。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		適切に行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で相談しながら行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		適切に行っている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		適切に行っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		ミーティング行い、連携して行っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		職員間で情報共有に努めている。	どちらともいえない1名 送迎時間がおしてしまうと、その日のうちに 行えないこともある。	

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		適切に行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		適切に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		適切に行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動内での順番を本人の希望に合わせてたり、おやつについても自分で決められた金額内で選択するという経験を積んでいる。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		学校、市役所(障がい者支援課、子家総)、発達支援センターなどと連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校より行事予定などもらっている。下校時刻などは保護者からの連絡になっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			そういったことをしたことがまだないが、必要であれば情報共有に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			現在該当者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		発達支援センターとは連携しており、研修もあれば参加している。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		学童と一緒に遊ぶ機会を設けている。		
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		5		まだ参加したことはない。機会があれば参加する。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時に保護者と子供の状況について話す時間を設けている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		まだ家族向けの研修を行ったことはないが、今後検討していく。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		適切に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		適切に行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		適切に行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				どちらともいえない5名 保護者から面談などの希望があれば随時行いが、今のところ要望が出たことはない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者同士で話をする機会を提供している。	保護者同士で話をする機会を不定期で設けてはいるが、なかなか参加する方がいない。兄弟同士が交流する機会も今後作りたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		適切に行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		公式LINEにて利用児の保護者向けに毎月活動内容、行事予定など発信している。Instagramにも活動の様子など載せている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		適切に行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		適切に行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		フリースクールを共同で、近隣住民が気軽に来られるようなイベントを開催し、事業所の周知に努めた。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		適切に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		適切に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		適切に行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				どちらともいえない5名 食物アレルギーに関しては契約時に事前に保護者に確認しているが、今のところ医師の支持が必要な対応の児童はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		適切に行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		適切に行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		適切に行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		適切に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		適切に行っている。		